

2025年3月4日

やとうご
弥藤吾蓄電所の営業運転開始について
～再生可能エネルギー導入拡大と電力需給安定化へ向けた系統用蓄電池事業を開始～

みずほリース株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:中村昭、以下「みずほリース」)の100%子会社であるエムエル・パワー株式会社(本社:東京都港区、代表取締役:荒井美智雄、以下「エムエル・パワー」と、東北電力株式会社(本店:宮城県仙台市、取締役社長 社長執行役員:樋口康二郎、以下「東北電力」)は、本日、「弥藤吾蓄電所」(埼玉県熊谷市)の営業運転を開始いたしました。

弥藤吾蓄電所は、再生可能エネルギーの導入拡大と電力需給の安定化に向けた「系統用蓄電池事業」として、エムエル・パワーと東北電力が共同で設立した「坂東蓄電所1号合同会社」(以下「合同会社」)が建設を進めてきたものです。(2024年2月26日お知らせ済)

今後、弥藤吾蓄電所内に設置した大型の蓄電池を、再生可能エネルギーによって生じる電力の余剰や不足に合わせて充放電することで、電力需給を安定させ、再生可能エネルギーのさらなる有効活用に繋げるとともに、蓄電池を用いた電力の売買による収益化を目指してまいります。

なお、合同会社では、垂塚蓄電所(群馬県伊勢崎市)および小角田蓄電所(群馬県太田市)の建設も進めており、順次、2025年6月までに運用を開始する予定としております。

みずほリースは、社会的課題を解決するサーキュラー・ソサイエティ・プラットフォームカンパニーを目指し、再エネの発電・送電・蓄電・利用のマネジメントシステムの構築や、省エネ・エネルギー効率化ソリューション拡充に取り組んでまいります。

東北電力は、分散型エネルギーリソースを最大限活用するサービス※の提供などを通じ、事業領域拡大を図るとともに、脱炭素社会の実現を目指してまいります。

※分散型エネルギーリソース(蓄電池、EVなど)を集約し、市場取引などで獲得した収益の一部をお客さまに還元するサービス。

以上

(別紙)弥藤吾蓄電所の概要

【お問い合わせ先】

みずほリース株式会社 経営企画部
TEL03(5253)6540東北電力株式会社 経営広報ユニット
TEL022(799)1231

弥藤吾蓄電所の概要

1. 弥藤吾蓄電所の概要

蓄電所	営業運転開始	出力	容量	蓄電池メーカー
弥藤吾蓄電所 (埼玉県熊谷市)	2025年3月4日	1.96MW	7.46MWh	(株)GS ユアサ

注:蓄電池種類は、リチウムイオン

(弥藤吾蓄電所 完成写真)



2. 役割分担

坂東蓄電所 1号合同会社※1	弥藤吾蓄電所の運営
エムエル・パワー株式会社※2	プロジェクトマネジメント、アセットマネジメント
東北電力株式会社	弥藤吾蓄電所の市場運用(卸電力市場・需給調整市場・容量市場)

※1:出資比率はエムエル・パワー株式会社 50%、東北電力株式会社50%

※2:みずほリース株式会社100%子会社

【参考:垂塚蓄電所・小角田蓄電所の概要】

蓄電所	運用開始	出力	容量	蓄電池メーカー
垂塚蓄電所 (群馬県伊勢崎市)	2025年5月(予定)	1.96MW	7.46MWh	(株)GS ユアサ
小角田蓄電所 (群馬県太田市)	2025年6月(予定)	1.99MW	7.40MWh	(株)パワーエックス

注:蓄電池種類は、いずれもリチウムイオン